

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	コミュニティホーム改修事業				会計	款	項目	大専	小専	
					01	02	01	15	04	51
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	コミュニティ課					
施策	2-6		市民の主体的連帯活動に支えられたコミュニティの推進	主管課長	樋口 洋徳					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	コミュニティホームを利用する市民等	意図	コミュニティホームを利用する市民等が良好な活動をすることができる。
事業内容	老朽化したコミュニティホームを補修し、地域住民の活動拠点としてのコミュニティホームの機能を維持する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和46年に旧自治省によるモデルコミュニティ地区に指定され、コミュニティホームが設置された。45年以上経過し、施設の老朽化が著しいことから、修繕対応を行っている。八木南地区コミュニティホーム対策委員会との協議により、第2コミュニティホームは建替えることとなり、平成30年度に建替え工事を実施した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	修繕回数	7	5	5	回	↓↓↓	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果	修繕することにより、利用者の安心・安全につながっている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成30年度は、第2コミュニティホーム建替え工事のほか、第3コミュニティホームに係る、和室天井、玄関タイル、避難誘導灯、エアコン修繕を行った。			
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度					
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,316,248	4,627,976	57,997,340					
事業費(b)(円)	629,748	3,285,576	56,678,940					
うち一般財源	629,748	3,285,576	56,678,940					
職員給与費(c)(円)	686,500	1,342,400	1,318,400					
人役・職員(人)	0.10	0.20	0.20					
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	第2コミュニティホームの建替え工事を実施する。八木南地区コミュニティホーム対策委員会と第3コミュニティホームのあり方について協議を行う。	③取組における課題(Check)	八木南地区コミュニティホーム対策委員会との協議を継続する。
②H30に実施した取組(Do)	第2コミュニティホームの建替え工事を実施した。八木南地区コミュニティホーム対策委員会と協議を実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	土地区画整理事業の進捗状況を勘察しつつ、第3コミュニティホームのあり方について、引き続き八木南地区コミュニティホーム対策委員会と協議する。